



情報科教育法b

第14回

スケジュール 2025

授業	Date	内 容
1	8/22	ガイダンス、様々な模擬授業を見る
2	8/22	情報Ⅰ～情報社会と問題解決
3	8/22	情報Ⅰ～コミュニケーションと情報デザイン
4	8/22	情報Ⅰ～コンピュータとプログラミング
5	8/25	情報Ⅰ～情報通信ネットワークの活用
6	8/25	情報Ⅱについて
7	8/25	情報Ⅱについて
8	8/25	アクティブラーニングとチーム・ティーチングについて
9	8/26	チーム・ティーチングの模擬授業（10分×13人）
10	8/26	模擬授業（15分×6人）
11	8/26	模擬授業（15分×7人）
12	8/27	模擬授業（20分×5）
13	8/27	模擬授業（20分×5）
14	8/27	模擬授業&総括（20分×3）

本日の内容

- まとめ
- 入試問題（予想）を見てみる

情報教育

- 他の教科とは異なり，日々進化する科目である
 - 日々新しい情報を獲得する
 - 次の社会を見据えて教育をしていく
- 情報の知識のみならず他の分野との横断

レポート課題

1. 平成29年度学習指導要領では、
「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた
授業改善の推進」と
「協同的学びの実現」が書かれています。
これを実現するためには、
どのような授業実施していくべきか、
現状の問題を挙げつつ考察してください。

様々な授業実践の現状を調査して、
考察していくことがよい

レポート課題

2. 情報Ⅰではプログラミングが項目に入っています。
さらに、入試科目として情報もあり、
いわゆる入試対策的なことも必要になってくる可能性があります。
このような状況から、プログラミングの授業としてどの言語を
使って授業展開をしていくのか、情報科目としてどの程度の
割合プログラミングに費やすべきか、
共通テストの問題などから考察してください。

様々な授業実践の現状を調査して、
考察していくことがよい

レポート課題

3. 情報科教育法a, bでは, 情報教育の内容について紹介していきました. 現時点で生成系AIも日常的に使われている世の中になっています. これを踏まえて日本の情報教育はどのようにしていくべきなのかを調査しながら書いてみてください.

生成系AIの活用なども踏まえて
メリットデメリットなども考慮して
今後の教育について考えてみてください

課題・演習等の締め切り

- 各課題等の提出期限
8月31日(Sun)(JST)23:59まで
- レポートの提出期限
9月19日(Fri) 23 : 59(JST)までに
- 相互評価の提出期限 :
9月19日(Fri) 23 : 59 (JST)まで

おねがい

- 今年度11～1月ごろに、実験の被験者の募集の連絡をします
 - 内容は、現状模擬授業を15分ほどとアンケート
 - 謝礼は学内既定額でお渡しします（2時間分）
 - 枚方、大宮、梅田どこで言っていただいてもOKです
 - 案内はDiscordとメールで言うと思うので、参加してくれると助かります
（教職のほかの知り合いにも声かけていただけると助かります）